

会議録

会議の名称	西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会・第3回会議
開催日時	平成23年7月14日（木曜日）午後2時50分から午後4時まで
開催場所	西東京市役所保谷庁舎 保健福祉総合センター6階 講座室2
出席者	委員：市川座長、須加副座長、饗場委員、新井委員、五十里委員、石井委員、海老澤委員、小山委員、齊藤委員、高岡委員、高橋委員、中村委員、新野委員、橋岡委員、山西委員、吉岡委員 事務局：福祉部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長以下7名
議題	(1) 第2回会議録の確認について (2) 高齢者福祉サービスについて (3) 次期計画策定に向けた課題と方向性について
会議資料の名称	配布資料： 高齢者保健福祉検討委員会第2回会議録 西東京市一般会計予算高齢者支援課関係予算（一部抜粋） 年齢・対象別高齢者福祉サービス一覧 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第4期）の重点プロジェクトの総括 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）課題と方向性の検討 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）策定検討の枠組み（7月） 訂正資料： 第2回の会議資料3の訂正版
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	

1. 開会

2. 議題

(1) 第2回会議録の確認について

○座長：

会議録の確認をさせていただきたい。訂正はあるか。訂正がないということで、議決する。

(2) 高齢者福祉サービスについて

○事務局：

資料2、資料3、資料4の説明

○座長：

質問等があるか。

○委員：

資料2の災害時要援護者登録事業費について。生活状況調査を実施した際、民生委員が同行し、登録の意向を聞いて回った。その後、どうなったのかという質問を受けた。

○事務局：

申請書を配布したところ、14,000人から登録の申込があった。そのうち6,600人は介護保険サービスの利用者である。8,000人程度という当初の予想を上回り、入力作業に手間取っている。危機管理室とともに、優先度をつけて名簿化する。モデル地域をつくって個別支援計画をつくる予定がある。今年度、必要な支援の検証をする。

○委員：

資料2の高齢者緊急短期入所事業費について。決算額はわかったが、1年間でどのくらいの利用件数があったのか。医療ニーズのある方の受け入れはスムーズに行われたのか。

○事務局：

平成21年度の実績だが、7床あり、延べ利用日数は2,040日、稼働率は79.8パーセントである。実利用者数は60人だった。利用目的は介護者不在84パーセント、虐待14パーセント、緊急避難2パーセントである。医療ニーズのある方の受け入れに関するデータはない。

○座長：

今の質問の意図は、高齢者緊急短期入所が足りないということか。

○委員：

サービスとして充足できているのかどうか、実態がわからなかったので質問した。

○座長：

稼働率が高い。

○委員：

高齢者緊急短期入所は地域包括支援センターを通すが、虐待があっても入れないことがあった。一般ショート、デイサービスのお泊りを先に探さないと言われ、日頃利用していない施設にも問合せて受け入れ先を探している現状である。利用期間を短く設定して、必要な時にすぐに利用できるようにして欲しいと切に思う。医療ニーズのある方は、受け入れ先を探すのが難しい。

○委員：

介護をしていると、行き場のないことが緊急に起こる。少しの間でも落ち着ける場があるということが重要だ。

○委員：

資料2の通所介護サービス等事業費の金額が大きいが、介護保険のデイサービスではないと思ってよいのか。

○事務局：

公設民営のデイサービスである。西東京市が自ら事業主体となって一般デイサービス3か所、地域密着型認知症デイサービス1か所の計4か所をやっている。その4か所の事業費の合計になる。

○委員：

一般の介護保険施設と同様の運営をしているので、介護利用料をいただいて運営されていると思ってよいのか。

○事務局：

プラスでなく予算額としてこれだけということである。介護報酬でまかなえている事業所もあるが、公費が半分くらい出ている事業所もある。

○副座長：

介護保険の財源が入っているということだ。一般会計から2億出ているのは不思議だと思った。

○事務局：

歳入・歳出をはっきりして、次回説明する。

○委員：

前回、市の負担額を入れてほしいという意図で資料提供をお願いしたのだが、イメージしていた資料と違った。前回の資料（事業一覧）の項目ごとに、備考欄に数字を入れてもらえばよいと思っていた。

○座長：

主たるものだけでよい。

○委員：
施策ごとに入れていただければわかりやすい。

○事務局：
可能な範囲でよい。

○座長：
それでよい。

○委員：
資料3、家族介護慰労金の支給実績を教えてほしい。

○事務局：
支給実績は4件である。

○委員：
制度のPRはしているのか。

○事務局：
市報、ホームページ等で広報はしている。

○委員：
現計画の評価をしないと次期計画はつくれない。実績は出ているが、その数字がどういう意味を持っているのか。本日、訂正資料が出ているが、支えあいネットワークの主な活動はこれであっているのか。資料の内容がきちんと精査されているのか。

○事務局：
他の事業に書かれているものを、再掲している場合がある。

○委員：
資料4の認知症サポーターについて。興味・関心のない層とはどのような人たちをさしているのか。働きかけの方針はあるのか。年代的に偏りがあるのかどうか。

○事務局：
何十代がどれくらいかという割合まではまとめ切れていないが、年代的には高齢者が多いという傾向がある。

○委員：
認知症サポーターを増やすなら、可能性の高いところにターゲットを絞った方がよい。若年層に働きかける必要があると思う。

○座長：

サポーターの活用はどこでも課題になっている。活用のしかたについてご提案をいただきたい。お宝年齢大作戦で、老人クラブ加入率アップを目標としているが、老人クラブの参加者の平均年齢である80歳は後期高齢者になるので、この数字を狙うのは無理があるかもしれない。

(3) 次期計画策定に向けた課題と方向性について

○事務局：

資料5の説明

○座長：

調査結果などは、ここに凝縮されているので、ここからスタートしたい。持ち帰ってご検討いただき、委員の提案を反映してきたい。

○事務局：

資料6説明

○事務局：

第4回では、理念や体系をご検討いただきたい。

○座長：

資料5をスタートとし、資料6のタイムスケジュールに沿って進めたい。介護保険の資料で圏域別のデータも出ている。圏域の議論は大切である。今日は、今後の進め方を確認して終わりとする。

(4) その他

○事務局：

東京都は「東京緊急対策2011」の一環として熱中症対策を打ち出している。西東京市でもチラシを2万部つくり、シルバー人材センターのスタッフに認知症サポーターになってもらい、対象者に熱中症対策グッズを配布している。

○福祉部長：

猛暑が続く。節電の影響もある。どなたも体調管理には苦労していらっしゃると思うが、ご自愛いただきたい。次回は8月11日を予定している。ご協力をよろしくお願いする。

○座長：

資料5の方向性として入れたい項目があれば、事務局を通してご提案を寄せていただきたい。調整する。